

瀬戸石ダム・発電所 今後の台風シーズンに備えた対応について

瀬戸石ダム・発電所(熊本県葦北郡芦北町・同球磨郡球磨村)について、今般、本格的な台風シーズンを迎えるにあたり、改めて出水に対して注意をお願いするとともに、流域の安全・安心に向けた取り組み状況をお知らせします。

1. 出水時における情報の周知・提供について

瀬戸石ダムに関する情報について、引き続き下記方法にて周知・提供などを実施しています。

なお、当社がお知らせする放流量等の情報はダム地点のものであり、避難等については行政から提供される情報等をもとにご判断ください。

① ダム下流警報設備

ダム下流警報設備(瀬戸石ダム～遥拝堰上流古田地点の28警報局)により、サイレン吹鳴とアナウンス放送を行います。

(お知らせする内容) 瀬戸石ダム放流開始(サイレン吹鳴・アナウンス放送)
および各放流量(アナウンス放送※1)

※1 毎秒500トンに達したとき、以降、毎秒500トン増加する毎、毎秒6,500トンまで

荒瀬警報局(旧荒瀬ダム付近)より下流の警報局では、各地点でのダム放流水の到達を見込んで順次アナウンスします。なお、流量が急に上昇する場合には、ダム放流水の到達時間が短くなることを考慮して一斉にアナウンスします。

また、一部の警報設備については、現在より高い場所に移設するための適地を選定し、用地手配を進めています。

② テレホンサービス

瀬戸石ダム地点の30分毎の最新の流量をお知らせします。

(お知らせする内容) 最新の瀬戸石ダム地点の流量(30分毎)
(電話番号) TEL 0120-340-405(フリーダイヤル)
TEL 0966-83-0061(有料ダイヤル)

③ ケーブルテレビ告知放送

八代市様のご協力により、ケーブルテレビ（ひこいちテレビ）にご加入の皆さまに、告知放送により瀬戸石ダム地点の流量を音声でお知らせします。

（お知らせする内容） 瀬戸石ダム放流開始および各放流量（※2）

※2 毎秒 500 トンに達したとき、以降、毎秒 2,000 トン、毎秒 3,000 トン、毎秒 4,000 トンまで

④ ウェブサイトによる情報提供

ア. 川の防災情報

国土交通省様の「川の防災情報」にて瀬戸石ダムデータが確認できます。

（お知らせする内容） 貯水位、流入量、全放流量、
ダム地点時間雨量

（閲覧方法）

右の QR コードを読み込んでいただくか、川の防災情報のホームページ（次の URL）から「瀬戸石ダム」を検索してご覧ください。



<https://www.river.go.jp/kwabou/>

イ. 瀬戸石ダムライブカメラ情報

当社ホームページにて、瀬戸石ダム下流側からのダムのライブ映像を配信しています。

（閲覧方法）

右の QR コードを読み込んでいただくか、次の URL からご覧ください。



https://www.jpowers.co.jp/bs/renewable_energy/hydro/seto/

2. 瀬戸石ダム 事前放流による水位低下 【資料 1】

瀬戸石ダムでは、大きな出水が予想される場合に、2020 年 5 月に河川管理者、ダム管理者および関係利水者との間で締結した「球磨川水系治水協定」に基づき、事前放流を実施し調整池の水位を低下させ空き容量を確保するとともに、通砂／排砂により同容量の維持・拡大を目指す運用を実施しています。

2023 年度からは、6 月～9 月の間、通砂／排砂運用によりダム水位を更に低下（最大 EL41.9m（容量 680 万 m³）→最大 EL36.0m（容量 870 万 m³）に拡大）させる運用

を開始しています。これまでに計3回の事前放流を実施しています。

今後も事前放流による水位低下を継続し、流域の安全・安心に貢献してまいります。

3. 瀬戸石調整池における通砂／排砂運用等

堆積土砂について、今年5月に状況調査を実施した結果、前回調査（昨年秋）と比べ、堆砂排除や通砂／排砂、自然流下により減少しており、2012年度のピーク時の量から約6割減少しています。【資料2】

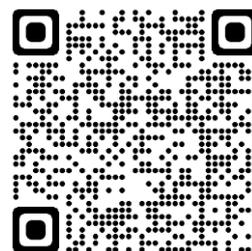
瀬戸石ダムでは、出水期間中に川の流れを活用した通砂／排砂運用を行うことで、堆積土砂量の低減を図っています。出水期後は、それらの状況調査の結果を踏まえ、堆積土砂の排除を着実に実施してまいります。

また、排除した土砂を国や県等の公共事業に提供するなど、有効活用にも努めてまいります。

なお、当社ホームページにて、「通砂／排砂運用情報」等が確認できます。

（閲覧方法）

右のQRコードを読み込んでいただくか、
次のURLからご覧ください。



https://www.jpowers.co.jp/bs/renewable_energy/hydro/seto/safety.html

4. 瀬戸石ダムの安全性 【資料3】

今年6月に実施した変位測量等の結果においても、特に変化は認められず、ダムの安全性に問題はないことをあらためて確認しています。今後も調査・確認を継続してまいります。

5. 瀬戸石ダムの連絡橋の通行

瀬戸石ダムの連絡橋は、周辺地域の生活に欠かせないことから、地元の方など許可車両等のみ通行可能としており、許可車両・緊急車両を除き、一般の方の通行はご遠慮いただいています。

連絡橋の補修は、上下流の道路・橋の復旧状況を踏まえ、2024年度からの予定を前倒しし、今年10月より開始します。工事完了は2027年5月を予定しています。

工事期間中は全面車両通行止めですが、6月1日から9月20日は許可車両・緊急車両のみ通行可能となります。

当社は、今後も流域の皆さまの安全・安心のために必要な対応や改善を継続しながら、発電所の安全運転に万全を期してまいります。

< 添付資料 >

- 【資料 1】 瀬戸石ダム 事前放流による水位低下
- 【資料 2】 瀬戸石調整池 堆積土砂量の経年推移
- 【資料 3】 瀬戸石ダム ダムの変位測量

以 上